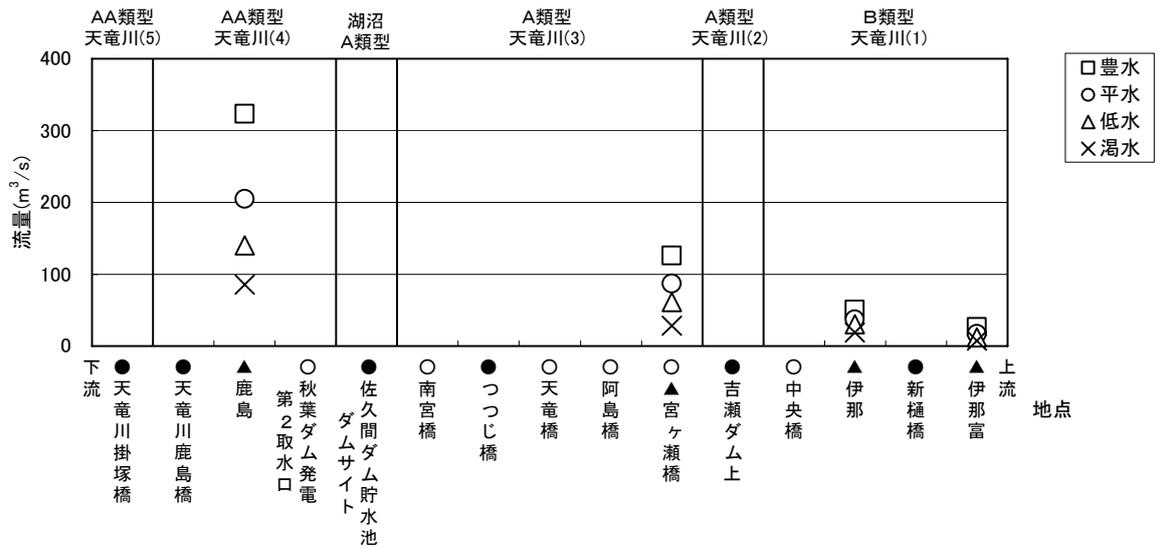


出典： は、平成 16 年度環境省調査、 は「第 92 回河川整備基本方針検討小委員会 参考資料 1-2 天竜川水系の流域及び河川の概要(案)」(平成 20 年 3 月 19 日)、
 は「天竜川ダム再編事業環境検討委員会 第 1 回検討会資料-1」(平成 18 年 7 月 5 日)による

図 2.38 河床材料(天竜川)

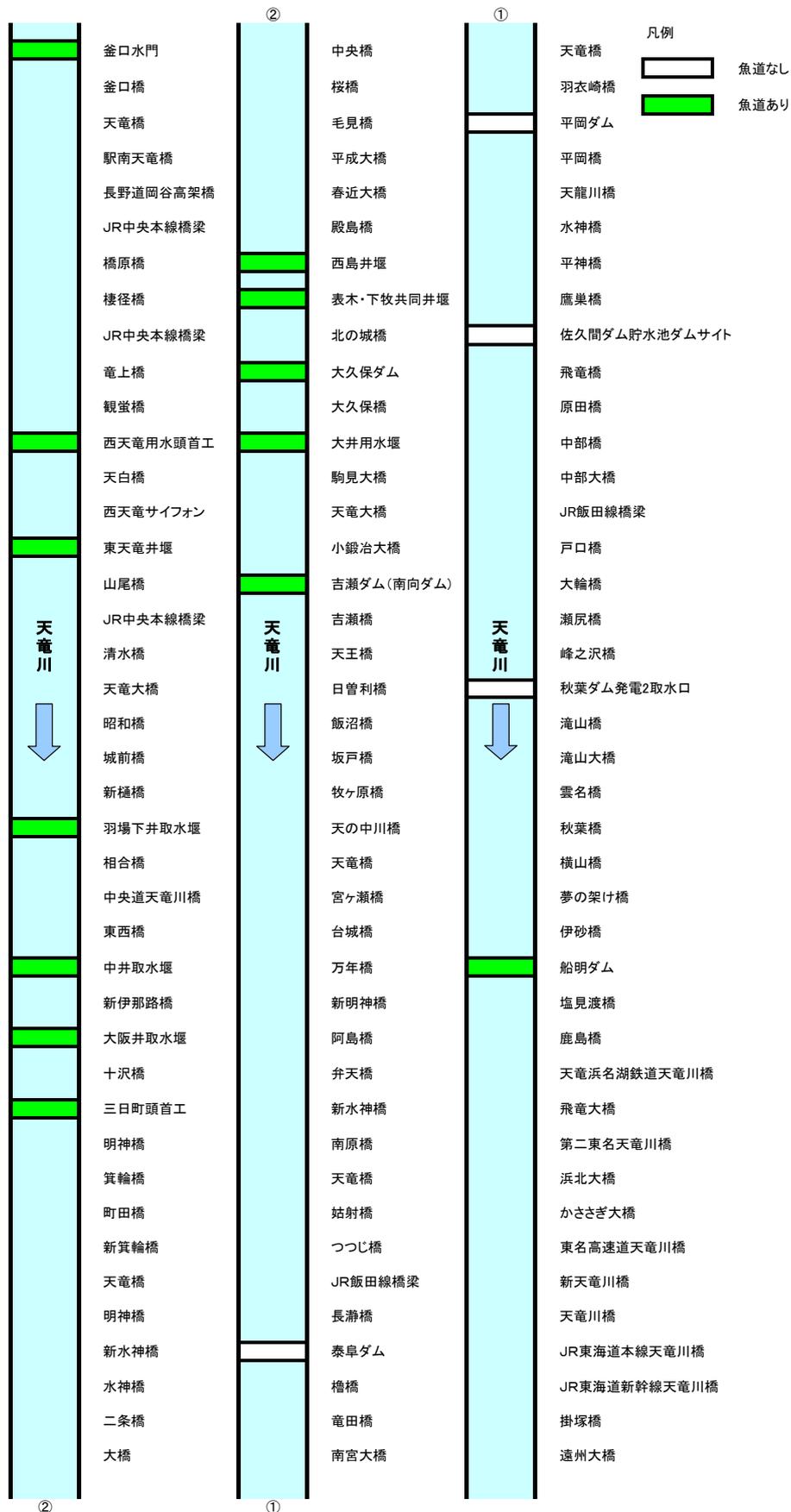


地点：環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)

注) 天竜川(5)の生活環境項目の類型指定は、河川A類型からAA類型に改定予定。

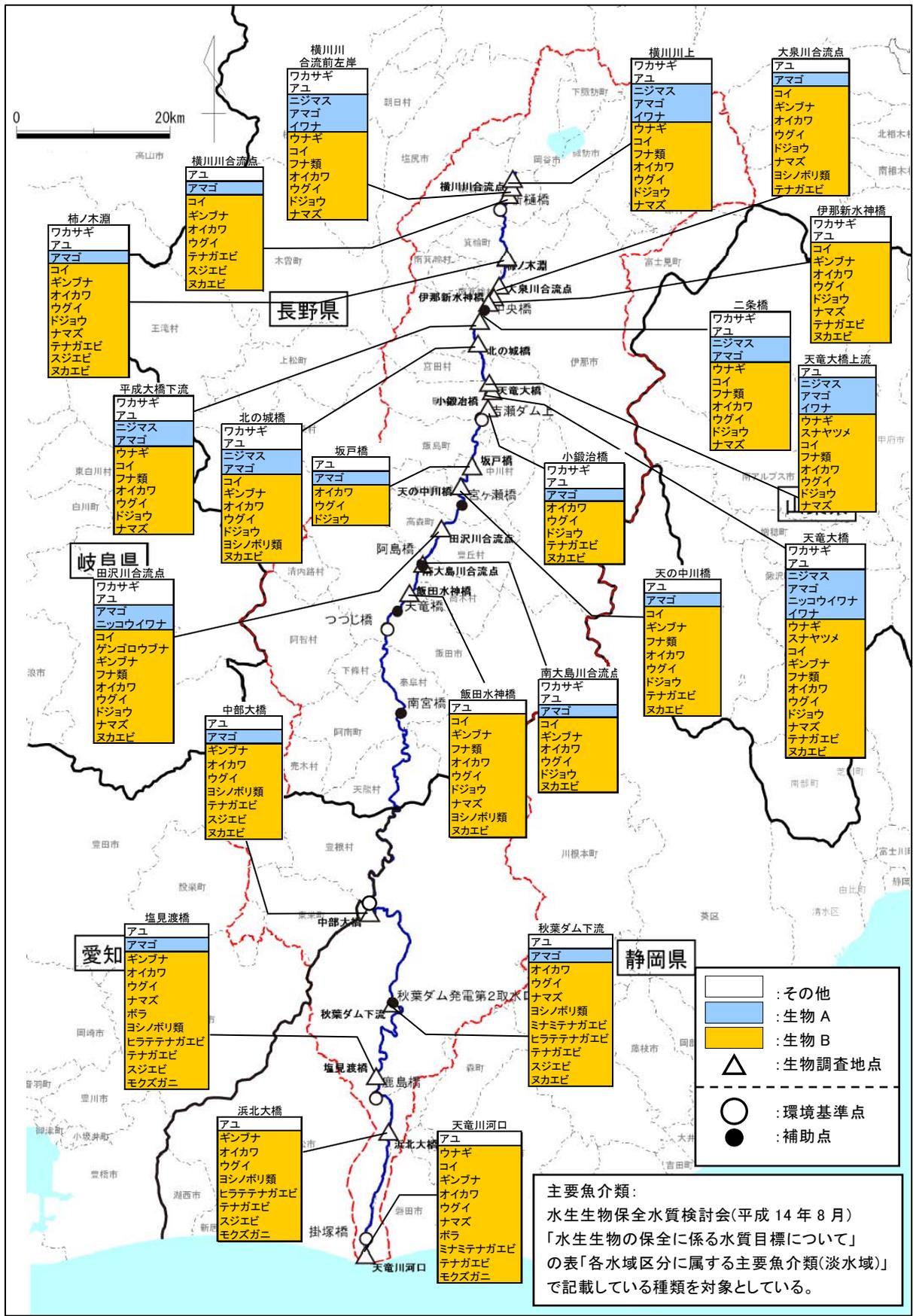
出典：流量年表(国土交通省河川局編, H15)

図 2.39 流量の縦断分布(天竜川)



出典：国土交通省資料等を基に環境省が作成

図 2.40 主な河川横断工作物(天竜川)



出典：国土交通省「河川水辺の国勢調査」他

図 2.41 主要魚介類の確認状況(天竜川)

表 2.9(1) 魚介類の確認状況(既存調査結果)(天竜川)

項目・分類・科・種名		調査地点																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
		天竜川河口*1	浜北大橋*1	塩見渡橋*1	秋葉ダム下流*1	中部大橋*1	飯田水神橋*1	南大島川合流点*1	田沢川合流点*1	天の中川橋*1	坂戸橋*1	小鍛冶橋*1	天竜大橋*2	北の城橋*1	伊那新水神橋*1			
		2002	2002	2002	2002	2002	2002	2002	2002	2002	2002	2002	2000-2004	2002	2002			
生物A	魚類	サケ科	ニジマス															
		サケ科	アマゴ		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			
		サケ科	ニッコウイwana						○	○	○	○	○	○	○			
その他	魚類	サケ科	イwana															
		キウリウオ科	ウカサギ															
生物B	魚類	アユ科	アユ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		ウナギ科	ウナギ	○														
		ヤツメウナギ科	スナヤツメ															
		コイ科	コイ	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	ゲンゴロウブナ							○	○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	キンブナ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	フナ属の一種															
		コイ科	オウゴン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	ウグイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	ウグイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ドジョウ科	ドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ナマズ科	ナマズ	○		○	○		○					○			○	
		ボラ科	ボラ	○														
		ハゼ科	シマヨシノボリ		○	○												
		ハゼ科	オオヨシノボリ			○	○											
	ハゼ科	トウヨシノボリ		○	○	○	○								○			
	甲殻類	テナガエビ科	ミナミテナガエビ	○		○	○											
		テナガエビ科	ヒラテナガエビ	○	○	○	○											
		テナガエビ科	テナガエビ	○	○	○	○				○			○		○		
		テナガエビ科	スシエビ	○	○	○	○											
		スズメエビ科	スズメエビ	○	○	○	○									○		
		イソナニ科	イソナニ	○	○	○	○									○	○	
		コイ科	コイ(イトツゴイ)											○				
		コイ科	コイ(ニシキゴイ)								○							
		コイ科	タイリクバラタナゴ	○														
	その他	魚類	コイ科	タナゴ														
			コイ科	ハス				○										
			コイ科	カワムツ		○	○	○	○	○	○	○						
			コイ科	ヌマムツ				○	○									
			コイ科	アブラハヤ				○	○									
			コイ科	モツゴ	○										○		○	○
			コイ科	タモロコ		○									○		○	○
			コイ科	ホシモロコ			○								○		○	○
コイ科			セゼラ			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
コイ科			ヒメツク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
コイ科			Squalidus属の一種		○	○												
コイ科			ヒカイ															
ドジョウ科			シマドジョウ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	
キギ科			キギ	○		○		○										
ナマズ科			アカザ															
ヨウジウオ科			ガンテンイシヨウジ	○														
ヨウジウオ科			テンゴウヨウジ	○														
コチ科			マゴチ	○														
カジカ科			カジカ類															
カジカ科			カマキリ	○	○	○												
スズキ科			スズキ	○														
シマイサキ科			コヒキ	○														
シマイサキ科			シマイサキ	○														
サンフィッシュ科			ブルーギル					○										
サンフィッシュ科			オオクチバス(ブラックバス)									○						
サンフィッシュ科			コクチバス															
アジ科			キンガメアジ	○														
ヒラギ科			ヒラギ	○														
フエダイ科			ゴマフエダイ	○														
クロサギ科			クロサギ	○														
タイ科			クロダイ	○														
ボラ科			セスジボラ	○														
ハゼ科			カワアナゴ		○													
ハゼ科			チチブモドキ	○														
ハゼ科			オカスハゼ	○														
ハゼ科			チラスボ	○														
ハゼ科			ボウズハゼ	○	○	○												
ハゼ科			スミウキゴリ	○	○	○												
ハゼ科			ウキゴリ	○	○	○												
ハゼ科			ウロハゼ	○														
ハゼ科			マハゼ	○														
ハゼ科			アジシロハゼ	○				○										
ハゼ科			ヒメハゼ	○														
ハゼ科			ノボリハゼ	○														
ハゼ科			クチサケハゼ	○														
ハゼ科			ヒナハゼ	○														
ハゼ科			アベハゼ	○														
ハゼ科			ヨクラクハゼ	○	○													
ハゼ科			カウヨシノボリ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ハゼ科			ヨシノボリ属の一種															
ハゼ科	ヌマエビ	○	○	○	○													
甲殻類	クルマエビ科	Metapenaeus属の一種	○															
	クルマエビ科	ウシエビ	○															
	ヌマエビ科	ミノレヌマエビ	○															
	ヌマエビ科	ヌマエビ				○												
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ						○	○							○		
	イワガニ科	クロベンケイガニ	○															
	イワガニ科	アシハラガニ	○															
	イワガニ科	ケフサイソガニ	○															
	イワガニ科	トゲアシヒライソガニモドキ	○															
	イワガニ科	オオヒライソガニ	○															
	スナガニ科	アリアケモドキ	○															
	ヒメエビ科	Scylla属の一種	○															
	サワガニ科	サワガニ	○							○								
	貝類	アマオブネガイ科(+フネアマガイ科)	イシマキガイ	○			○	○						○		○		
		カウニナ科	カウニナ								○							
サカマキガイ科		サカマキガイ								○								
シジミ科		Corbicula属の一種	○		○													

出典：*1 国土交通省「河川水辺の国勢調査」

*2 長野水試事業報告

図 2.30(2) 魚介類の確認状況(既存調査結果)(天竜川)

項目・分類・科・種名		調査地点							
		15 大泉川合流点*1	16 柿ノ木淵*1	17 横川川合流点*1	18 天竜大橋上流*2	19 平成大橋下流*2	20 二条橋*2	21 横川川合流前 左岸*2	22 横川川上*2
		2002	2002	2002	2005-2007	2005-2007	2000-2004	2005-2007	2000-2004
生物A	魚類	サケ科	ニジマス						
		サケ科	アマゴ	○	○	○	○	○	○
		サケ科	ニッコウイワナ						
		サケ科	イワナ						
その他	魚類	キュウリウオ科	ワカサギ						
		アユ科	アユ	○	○	○	○	○	
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ						
		ヤツメウナギ科	スナヤツメ						
		コイ科	コイ	○	○	○	○	○	
		コイ科	ゲンゴロウフナ						
		コイ科	キンフナ	○	○	○			
		コイ科	フナ属の一種						
		コイ科	オイカワ	○	○	○	○	○	
		コイ科	ウグイ	○	○	○	○	○	
		ドジョウ科	ドジョウ	○	○	○	○	○	
		ナマズ科	ナマズ	○	○	○	○	○	
		ハゼ科	ボラ						
		ハゼ科	シマヨシノボリ						
		ハゼ科	オホヨシノボリ						
		ハゼ科	トウヨシノボリ						
		甲殻類	テナガエビ科	シナミナガエビ					
			テナガエビ科	ヒラテナガエビ					
	テナガエビ科		テナガエビ	○	○	○			
	テナガエビ科		スジエビ	○	○				
	ヌマエビ科		ヌカエビ	○	○				
	イワガニ科		モクスガニ						
	その他	魚類	コイ科	コイ(ドイツコイ)					
			コイ科	コイ(ニシキコイ)					
			コイ科	タイリクバラタナゴ		○			○
			コイ科	タナゴ					○
			コイ科	ハス					
			コイ科	カウムツ					
			コイ科	ヌマムツ					
			コイ科	アブラハヤ	○	○	○		○
			コイ科	モツコ	○	○	○		○
			コイ科	タモロコ	○	○			
			コイ科	ホシモロコ					
			コイ科	せせが					
コイ科			カマツカ	○	○	○	○	○	
コイ科			ニオイ						
コイ科			Squalidus属の一種						
コイ科			ヒガイ						
ドジョウ科			シマドジョウ	○	○			○	
ギギ科			ギギ						
ナマズ科			アカザ				○		
ヨウジウオ科			ガンテンインシヨウジ						
ヨウジウオ科			テングヨウジ						
コチ科			マゴチ						
カジカ科			カジカ類			○		○	
カジカ科			カマキリ						
スズキ科			スズキ						
シマイサキ科			コトヒキ						
シマイサキ科			シマイサキ						
サンフィッシュ科			ブルーギル						
サンフィッシュ科			オオクチバス(ブラックバス)	○		○	○	○	
サンフィッシュ科			コクチバス					○	
アジ科			キンガメアジ						
ヒラキ科			ヒラキ						
クロサギ科			クロサギ						
クロサギ科			クロサギ						
タイ科			タイ						
ボラ科			セシボラ						
ハゼ科			カウアナゴ						
ハゼ科			手ネブモドキ						
ハゼ科			オカメハゼ						
ハゼ科			チウラスホ						
ハゼ科			ボウスハゼ						
ハゼ科			スミウキヨリ						
ハゼ科			ウキヨリ						
ハゼ科			ウロハゼ						
ハゼ科			マハゼ						
ハゼ科			アジシロハゼ						
ハゼ科			ヒメハゼ						
ハゼ科			ノボリハゼ						
ハゼ科			クチサケハゼ						
ハゼ科			ヒナハゼ						
ハゼ科			アベハゼ						
ハゼ科			コクラクハゼ						
ハゼ科			カウヨシノボリ	○	○				
ハゼ科			ヨシノボリ属の一種			○	○	○	
甲殻類			ナマズ科	ヌマチチブ					
			クルマエビ科	Metapenaeus属の一種					
			クルマエビ科	クルマエビ					
			ヌマエビ科	ミソレヌマエビ					
			ヌマエビ科	ヌマエビ					
			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	○				
			イワガニ科	クロベンケイガニ					
			イワガニ科	アシハラガニ					
			イワガニ科	ケフサイソガニ					
			イワガニ科	トゲアシヒライソガニモドキ					
			イワガニ科	オオヒライソガニ					
			スナガニ科	アリアケモドキ					
			セミエビ科	Scylla属の一種					
			サワガニ科	サワガニ		○			
貝類			アマオブネガイ科(+フネアマガイ科)	イシマキガイ					
			カウニナ科	カウニナ					
			サガマキガイ科	サガマキガイ					
			シジミ科	Corbicula属の一種					

出典：*1 国土交通省「河川水辺の国勢調査」

*2 長野水試事業報告

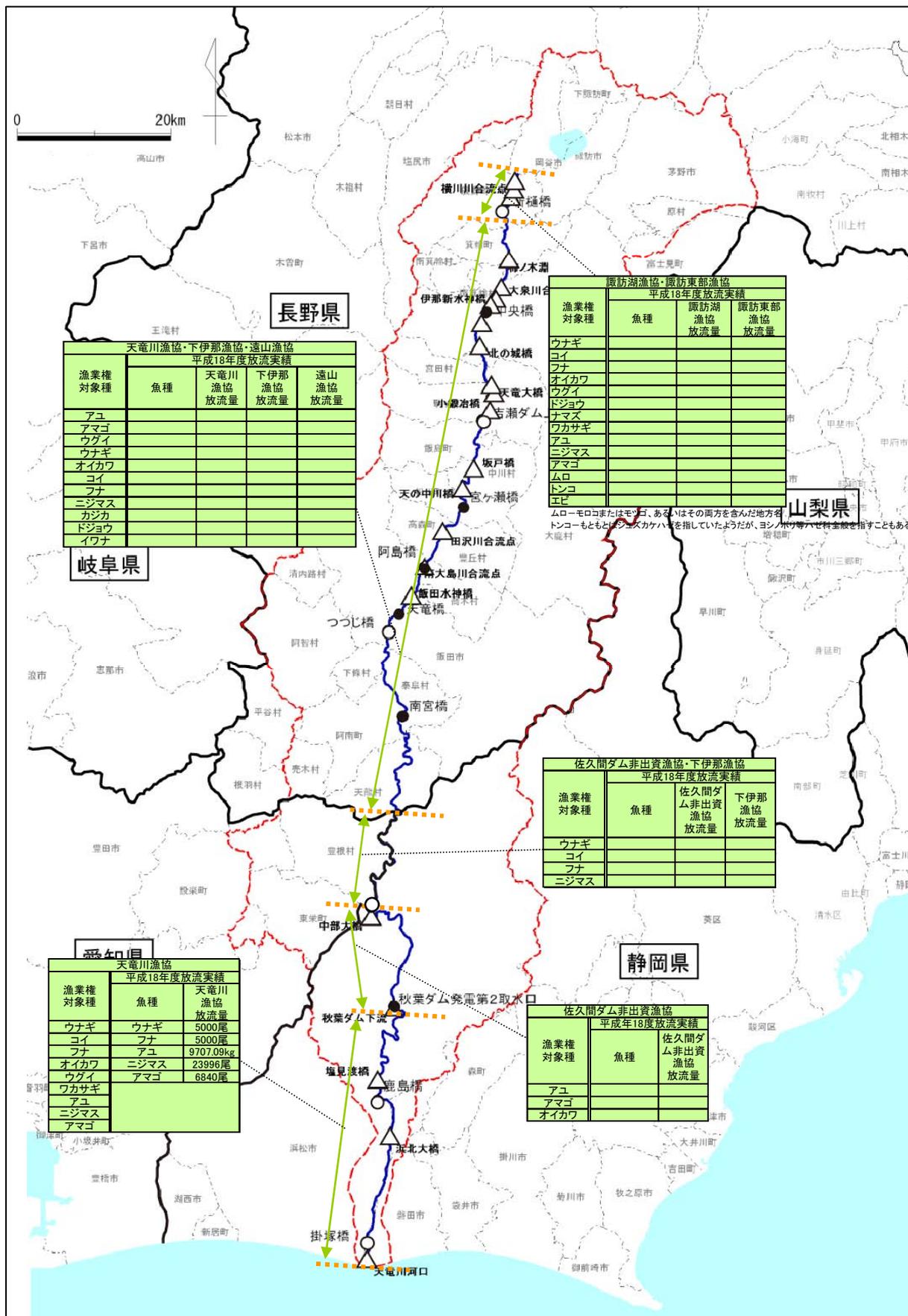


図 2.42 漁業権設定・魚類等放流状況(天竜川)

(参考) 保護水面等の状況について

1. 保護水面の概要

天竜川保護水面（概要）

告示番号	第 1526 号
名称	天竜川保護水面
設定年月日	昭和 40 年 12 月 1 日
所在地	静岡県浜松市、磐田市
保護対象	産卵期のアユ
保護期間	10 月 1 日から 11 月 15 日まで
区域	天竜川河口から上流 16.4km の区域

2. 人工産卵床の設置状況について

保護水面指定区域内において、平成 17 年から静岡県天竜川漁協が毎年秋に人工産卵床を造成している。造成時期及び場所については、その年の産卵状況を見ながら決めており特定はしていない。

3. 保護水面等における既存調査

静岡県ではアユを保護対象とし、アユの成熟度調査および流下仔魚調査を継続的に実施している。（平成 17 年度までは静岡県水産試験場浜名湖分場（現水産技術研究所浜名湖分場）が実施。平成 18 年度以降は農業水産部水産資源室（現産業部水産資源室）が天竜川漁協に委託し実施）。

以下に主な調査内容・方法、および流下仔魚調査結果の概要を整理した。

なお、人工産卵床にしぼった産卵状況の調査は行われていない。

(1) 調査内容と方法

天竜川保護水面での調査内容（概要）

調査項目	調査地点	調査時期・頻度	調査方法・項目等
成熟度調査	新天竜川橋付近	平成 17 年度まで実施	保護水面区域内の新天竜川橋付近にて、投網によりアユ親魚を採捕し、生殖腺重量指数（GSI）から成熟度を調査。
流下仔魚調査	新天竜川橋下流部	毎年実施 10 月～12 月（流下時期と仮定）	濾水計付ナンゼン型ネットを用いてアユ仔魚を採取。採捕した仔魚を計数し、濾水量から単位水量当たりの流下仔魚数を求め、積算することで総流下仔魚数を推定した

(2) 調査結果 (流下仔魚調査)

天竜川保護水面での調査結果 (概要)

年度	流下仔魚数 (億尾)
H9	4.8
H10	1.1
H11	18.1
H12	2.4
H13	4.9
H14	58.6
H15	3.3
H16	2.6
H17	46.0
H18	52.4